

実績確認概要書

平成 25 年 2 月 15 日

審査機関名 (株)JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|--|
| 排出削減事業名 | バイオマス（揚げ物廃油）ボイラー利用等による 省エネルギー事業 |
| 承認番号 | JCDM-PJ0041 |
| 排出削減事業者名 | 株式会社藤田食品 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 株式会社 三井住友銀行 三井住友ファイナンス&リース株式会社 |
| 事業実施場所 | 株式会社藤田食品 但馬工場 (兵庫県養父市八鹿町上小田) |
| 事業の概要 | バイオマス（揚げ物廃油）ボイラー利用による LPG 使用量の削減および水銀灯や蛍光灯を高効率照明に換えることにより、省エネルギーを図り CO2 の排出量削減を行う。 |
| 排出削減量の計画 | 234 tCO ₂ / 年（事業実施期間合計 936tCO ₂ ） |
| 国内クレジット認証期間 | 開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 001-A ボイラーの新設 方法論番号 006 照明設備の更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2012 年 1 月 1 日 ～ 2012 年 12 月 31 日（第 4 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|----------------------|
| 排出削減量 | 182 tCO ₂ |
|-------|----------------------|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|---|
| 排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること | <ol style="list-style-type: none">1) 開始日の確認 承認排出削減事業計画通りに、本事業が 2009 年 4 月 1 日に開始されたことを、エネルギー使用実績データ及び事業者への質問により確認している。2) 対象期間中の設備稼働確認 承認排出削減事業計画に従い、バイオマス（揚げ物廃油）利用ボイラーの稼働および水銀灯や蛍光灯から更新された高効率照明が使用されていることを、バイオマス（揚げ物廃油）使用実績記録および工場稼働実績記録により確認している。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、事業実施後のオイルメーターによるバイオマスボイラー廃油（なたね油）使用量および工場稼働時間（活動量）等のモニタリングが実施されていることを確認している。2) 活動量の正確性 工場稼働時間が適切に記録、集計、保管されていることを、質問及び記録されたデータにより確認している。3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、各排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認している。4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 |

| | |
|--|---|
| | <p>本実績確認の対象期間の測定結果と排出削減量の算定結果を突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確である事を確認している。</p> <p>なお、都市ガス使用量についてはガスメータにより計測された使用量が標準状態に換算されていること確認している。</p> |
| <p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p> | <p>本実績確認の対象期間は、2012 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p> |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

特になし。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 1.8KL であることを確認している。

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量について、熱量換算 3,031.2GJ であることを確認している。

以上